

# 伊勢原市景観チェックシート（基本編）

行為者		行為地の 地名地番	伊勢原市
行為の 概要・規模			
行為地が 該当する 景観まち づくりの 基本方針	<p>「伊勢原市景観ガイドライン（基本編）」（以下 ガイドラインという。）のP2～7に掲載する基本方針を確認し、行為地があてはまる「□」欄にレ印を付けてください。（不明等の際は市へおたずねください。）</p> <p>● <b>P3 掲載 基本方針① 景観の顔をつくる</b>  <input type="checkbox"/> 交流とにぎわい   <input type="checkbox"/> もてなし   <input type="checkbox"/> 歴史・文化   <input type="checkbox"/> 新たな交流   <input type="checkbox"/> 該当なし</p> <p>● <b>P4 掲載 基本方針② 景観の骨格をつくる</b>  <input type="checkbox"/> 道のつながり   <input type="checkbox"/> 河川につながり   <input type="checkbox"/> 歴史・文化のつながり   <input type="checkbox"/> 大山とのつながり   <input type="checkbox"/> 該当なし</p> <p>● <b>P5～7 掲載 基本方針③ 地域らしさをつくる</b></p> <p>① 「やま」「おか」「まち」「さと」4つの地域の基本方針  <input type="checkbox"/> 「やま」の地域   <input type="checkbox"/> 「おか」の地域   <input type="checkbox"/> 「まち」の地域   <input type="checkbox"/> 「さと」の地域</p> <p>② 建築物の建築及び工作物の建設等に関する基本方針  <input type="checkbox"/> 住居系   <input type="checkbox"/> 商業系   <input type="checkbox"/> 工業系   <input type="checkbox"/> 沿道系   <input type="checkbox"/> それ以外の地域</p> <p>③ 屋外広告物の掲示に関する基本方針  <input type="checkbox"/> 地域性への配慮   <input type="checkbox"/> 施設等の調和   <input type="checkbox"/> にぎわいや個性の演出   <input type="checkbox"/> その他   <input type="checkbox"/> 該当なし</p> <p>④ 大規模な開発事業等に関する基本方針  <input type="checkbox"/> 周囲への配慮   <input type="checkbox"/> 周囲との連続性   <input type="checkbox"/> 緩衝空間の確保   <input type="checkbox"/> 自然的資源、歴史・文化的資源の保全と継承  <input type="checkbox"/> 地域特性の活用   <input type="checkbox"/> 大規模な面等への配慮   <input type="checkbox"/> 該当なし</p> <p>⑤ その他の基本方針  <input type="checkbox"/> 小田急線沿線地域における「車窓から見える景観」への配慮   <input type="checkbox"/> 該当なし</p>		

## 1 景観に配慮した内容の確認

ガイドラインP10～45を確認し、景観に配慮した内容について、下表のあてはまる「□」欄にレ印を付けてください。「市確認欄」には記入しないでください。

配置・規模 / 景観に配慮した内容	市確認欄
<p><b>項目1 P10 掲載 自然景観や眺望への配慮</b></p> <p><input type="checkbox"/> 背景となる山なみなどへの眺望を阻害しないよう、配置や高さ、屋根の形態などを工夫した。</p> <p><input type="checkbox"/> 山あいや丘陵地などでは、施設が目立たないよう、配置や高さ、屋根の形態などを工夫した。</p> <p><input type="checkbox"/> 広がりのある田園の眺望を阻害しないよう、配置や高さ、屋根の形態などを工夫した。</p>	
<p><b>項目2 P11 掲載 まちなみの連続性やゆとりある空間の確保</b></p> <p><input type="checkbox"/> 周囲から突出した建物等とならないようにできる限り高さを抑えた。</p> <p><input type="checkbox"/> 沿道ではまちなみの連続性に配慮して、スカイラインを揃えるなどの工夫を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 良好な隣地、隣棟間隔の確保により、ゆとりあるまちなみ景観の形成に努めた。</p>	
<p><b>項目3 P12 掲載 ゆとりと潤いある沿道空間の確保</b></p> <p><input type="checkbox"/> 道路などの公共空間からの後退に努め、ゆとりある空間の確保に努めた。</p> <p><input type="checkbox"/> 道路などの公共空間に面した敷地には、積極的に生垣や樹木を配置した。</p> <p><input type="checkbox"/> 歩道との仕上げをそろえ、段差をなくすなど、道路や隣接地との連続性や一体感の創出に努めた。</p> <p><input type="checkbox"/> 歩行者空間と一体となる後退した敷地部分には、塀やチェーン、自販機などを設置しないよう努めた。</p>	
<p>■ 上記の項目1～3を補足し、特に配慮した内容について記載してください。</p>	

形態・意匠 / 景観に配慮した内容	市確認欄
<p><b>項目1 P13～14 掲載 地域の歴史・文化や自然との調和</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>地域の歴史・文化を伝える景観資源を活用し、個性ある景観づくりに活用した。</li> <li><input type="checkbox"/>地域の伝統的なデザインの保全や活用により、個性あるまちなみ景観の形成に努めた。</li> <li><input type="checkbox"/>周辺の自然景観となじむよう、壁面や屋根の形態及び意匠を工夫した。</li> <li><input type="checkbox"/>市街地では、背景の山並みや周囲の緑との調和に配慮し、温かみのあるまちなみ景観の形成に努めた。</li> </ul>	
<p><b>項目2 P15 掲載 単体施設のまとまりへの配慮</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>過剰な装飾を避け、各部分と全体のバランスの取れた形態及び意匠となるよう工夫した。</li> <li><input type="checkbox"/>屋上に設置する設備機器などは、通りから見えにくい配置とするとともに、建築物と一体的なデザインとなるよう工夫した。</li> <li><input type="checkbox"/>室外機等は、外壁面に露出させない工夫や建築物との一体的なデザインとなるよう工夫した。</li> <li><input type="checkbox"/>屋外階段、配管設備などは、外壁面に露出させない工夫をした。</li> </ul>	
<p><b>項目3 P16 掲載 動きのある壁面デザインの活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>まちなみの連続性に配慮し、窓やベランダ、軒、屋根などの形態及び意匠を工夫した。</li> <li><input type="checkbox"/>長大な壁面は、分割・分割するなど、単調さや圧迫感を与えないよう工夫した。</li> </ul>	
<p><b>項目4 P17 掲載 施設群のまとまりへの配慮</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>敷地内に計画する複数の施設については、配置や規模、高さや屋根形状、壁面のデザインなどを工夫し、一団としてのまとまりに配慮した。</li> </ul>	
<p>■上記の項目1～4を補足し、特に配慮した内容について記載してください。</p>	
素材 / 景観に配慮した内容	市確認欄
<p><b>項目1 P18 掲載 周辺環境に配慮した素材の活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>質感を維持しやすい、地域の景観となじむ素材の使用に努めた。</li> <li><input type="checkbox"/>耐久性及び耐候性に優れるとともに、メンテナンス(洗浄や補修など)が容易な素材の使用に努めた。</li> <li><input type="checkbox"/>歴史・文化を感じる場所では、景観特性となっている地域素材の活用に努めた。</li> <li><input type="checkbox"/>自然豊かな場所では、木材等の自然素材を活用し、周辺の自然景観との調和を図った。</li> </ul>	
<p><b>項目2 P19 掲載 光沢、反射性の高い素材への配慮</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>光を反射する金属やガラス等の素材を使用する場合は、周辺の景観に対する影響を十分に考慮した上で、その使用方法を工夫した。</li> </ul>	
<p>■上記の項目1～2を補足し、特に配慮した内容について記載してください。</p>	
色彩 / 景観に配慮した内容	市確認欄
<p><b>項目1 P20～30 掲載 地域の色彩との調和</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>色彩は『地域別の色彩誘導(P21～25)』の内容に基づき選考し、「やま」「おか」「まち」「さと」の地域別に異なる色彩環境との調和に配慮した。</li> <li><input type="checkbox"/>工作物等の色彩は、こげ茶系やグレー系などの周辺環境に溶け込みやすい色彩を使用した。</li> </ul>	
<p><b>項目2 P26 掲載 突出した色彩や模様への配慮</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>高彩度の色彩の使用を控えるとともに、使用する色彩の数はできる限り少なくした。</li> <li><input type="checkbox"/>大きな壁面等には、複数の色を組み合わせた複雑な模様(斑模様や水玉模様等)を表示することは控えた。</li> <li><input type="checkbox"/>山なみや田園を背景とする地域では、極端な高明度、低明度の色彩の使用は控えた。</li> <li><input type="checkbox"/>市街地では、暗く重い印象となりやすい低明度の色彩の使用は控えた。</li> </ul>	
<p><b>項目3 P27 掲載 補助色やアクセント色への配慮</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>補助色は、基調色と同色相を使用し、適切な明度差によりまとまりのある配色となるよう工夫した。</li> <li><input type="checkbox"/>補助色は、基調色とのバランスに配慮し、外壁各面の1/5以下の面積で使用した。</li> <li><input type="checkbox"/>アクセント色は、基調色とのバランスに配慮し、低層部に小面積(外壁各面の1/20以下)で使用した。</li> <li><input type="checkbox"/>アクセント色は、シンプルなものとし、複数の色の使用を控えた。</li> </ul>	
<p>■上記の項目1～3を補足し、特に配慮した内容について記載してください。</p>	

緑化・外構等 その1 / 景観に配慮した内容	市確認欄
<p><b>項目1 P31 掲載 敷地、沿道緑化への配慮</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 緑化は道路など公共空間から「見える場所」を中心に行った。</li> <li><input type="checkbox"/> 沿道部における緑のつながりを生かすとともに、植栽に変化を持たせながら、まちなみを演出した。</li> <li><input type="checkbox"/> 沿道部からの視線を意識して地上部の連続だけでなく、縦（上下）の緑の連続も意識した。</li> </ul>	
<p><b>項目2 P32 掲載 良好な既存樹木への配慮</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 樹容に優れた樹木は、修景としての活用に努めた。</li> <li><input type="checkbox"/> 樹容に優れた樹木と一体となった樹林がある場合には、その樹林も含めた保全・活用に努めた。</li> <li><input type="checkbox"/> 周囲のまとまりのある緑との連続性とその植生に配慮した緑化を図った。</li> </ul>	
<p>■上記の項目1～2を補足し、特に配慮した内容について記載してください。</p>	
緑化・外構等 その2 / 景観に配慮した内容	市確認欄
<p><b>項目1 P33 掲載 敷地境界部への配慮</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 敷地の境界部に垣や柵等を設置する場合は、圧迫感の軽減のため、設置高さに配慮した。</li> <li><input type="checkbox"/> 公共空間との境界部では、ブロック塀や透過性のないフェンスなどの使用は控えた。</li> <li><input type="checkbox"/> 沿道の緑に溶け込みやすい、こげ茶系の色彩のフェンス等を使用した。</li> <li><input type="checkbox"/> 道路境界部を積極的に緑化することで、緑豊かな潤い空間の演出に努めた。</li> </ul>	
<p><b>項目2 P34 掲載 駐車場や屋外設備などへの配慮</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 屋外駐車場や自転車置場は、敷地周囲の緑化により、通りから見た雰囲気を和らげる工夫をした。</li> <li><input type="checkbox"/> 屋外駐車場や自転車置場は、建物の背後など道路から目につきにくい位置への配置に努めた。</li> <li><input type="checkbox"/> ごみ置場や屋外設備などを設置する場合は、周囲の景観や建物のデザインに配慮しつつ、緑化や修景などにより、目隠しなどの工夫を施した。</li> <li><input type="checkbox"/> 屋外駐車場の出入口は、まちなみの分断要素とならないように、可能な限りその集約に努めた。</li> </ul>	
<p>■上記の項目1～2を補足し、特に配慮した内容について記載してください。</p>	
造成・擁壁等 / 景観に配慮した内容	市確認欄
<p><b>項目1 P35 掲載 地形との調和</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 既存の地形を生かし、大幅な改変を控えるよう努めた。</li> <li><input type="checkbox"/> 切り土や盛土を工夫し、自然地形との調和を図った。</li> <li><input type="checkbox"/> 造成後は、自然の植生ができる限り早く回復するよう工夫した。</li> </ul>	
<p><b>項目2 P36～37 掲載 擁壁デザインへの配慮</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 擁壁は圧迫感を軽減するため、形状を工夫した。</li> <li><input type="checkbox"/> 無機質な印象となるコンクリート擁壁等の使用は控え、周辺環境との調和に配慮しつつ、石などの伝統的な素材や凹凸感のある素材を活用するなど、より豊かな表情となるよう工夫した。</li> </ul>	
<p>■上記の項目1～2を補足し、特に配慮した内容について記載してください。</p>	

広告物 / 景観に配慮した内容	市確認欄
<p><b>項目1 P40 掲載 広告物の形態や色彩への配慮</b></p> <p><input type="checkbox"/> 周辺環境との調和に配慮し、すっきりと際立たせるような表現や色彩とした。</p> <p><input type="checkbox"/> できる限り使用する色数を少なくし、基調となる表示面には高彩度の色彩の使用を控えた。</p> <p><input type="checkbox"/> CI(コーポレート・アイデンティティ)カラーを用いる際は地域の景観特性との調和に配慮し、使用方法を工夫した。</p> <p><input type="checkbox"/> 中心市街地や商業地では、まちなみと調和したデザインを工夫するとともに、「にぎわい」などの演出にも配慮した。</p> <p><input type="checkbox"/> 自然や歴史・文化が景観特性となる場所では、高彩度、高明度の色彩の使用を控えるとともに、自然素材の使用などの工夫を行った。</p>	
<p><b>項目2 P41 掲載 広告物の掲出方法への配慮</b></p> <p><input type="checkbox"/> 雑然とした印象とならないよう、複数の広告などをできる限りまとめて掲出した。</p> <p><input type="checkbox"/> 歩行者への圧迫感がないよう、位置や高さ、規模などを工夫した。</p>	
<p><b>項目3 P42 掲載 本体と広告物の調和</b></p> <p><input type="checkbox"/> 壁面広告は、外壁面のデザインと一体的な配置・形状となるよう工夫した。</p> <p><input type="checkbox"/> 壁面より突出する広告は、窓枠や階高とのバランスに配慮し、集約化を図るなど規則的な配置となるよう工夫した。</p> <p><input type="checkbox"/> 屋上広告は、まちなみのスカイライン及び建物と調和した規模・形状となるよう工夫した。</p>	
<p>■上記の項目1~3を補足し、特に配慮した内容について記載してください。</p>	
照明 / 景観に配慮した内容	市確認欄
<p><b>項目1 P43 掲載 照明への配慮</b></p> <p><input type="checkbox"/> 歩行者や生活者がまぶしさを感じないよう照明方法を工夫した。</p> <p><input type="checkbox"/> 光が拡散しないよう下向きを基本とし、必要な対象のみを照らすよう工夫した。</p> <p><input type="checkbox"/> 過剰な照明を避け、ライトアップや光のデコレーションにより、効果的な夜間景観の演出を工夫した。</p>	
<p>■上記の項目1~4を補足し、特に配慮した内容について記載してください。</p>	

## 2 そのほか、景観に配慮した内容

ガイドラインの項目によらず、景観に配慮した内容があれば記入してください。

景観に配慮した内容	市確認欄
<p>(例) 自販機の色は、鮮やかな色彩の使用を避け、ダークブラウンの色彩を使用することで、まちなみとの調和に努めました。</p>	